

計算機報告

能丸淳一

国立天文台ハワイ観測所

内容

- ▶ 現状報告
- ▶ 新システム移行
- ▶ ユーザへの影響

2011年のハイライト

- ▶ 概して安定に運用した。
- ▶ 3.11に専用回線がダウンし、復旧に2ヶ月間を要した。
 - ▶ その間STARSからMASTARSへのデータ転送は停止したが、STARSからのダウンロードは可能であった。
 - ▶ ネットワークが切れた際にデータをテープなどで輸送して、MASTARSに登録できるよう改修中。
 - ▶ ハワイ観測所からのデフォルトルートを国立天文台・三鷹からハワイ大学に変更した。
 - ▶ テレビ会議装置のIPアドレスはハワイ大学のものに変更し、所外の接続はすべてハワイ大学経由のインターネットを通じて行うようにした。
- ▶ STARSのストレージのコントローラのファームウェアにバグがあり、ディスクエラーが連鎖的に発生した。
 - ▶ 問題のストレージに保存されていたすべてのファイルを検査した。その間ストレージへのアクセスが遅くなった。壊れたファイルは見つからず、ファームウェアを更新して回復した。
- ▶ SOSSを停止し、全観測をGen2から行うようにした。

新システム(STN4)への移行

- ▶ 三鷹のMASTARSとハワイの計算機・ネットワークを5年間のレンタルで調達する。
- ▶ 仕様書案に対する意見招請の手続きを開始した。
- ▶ 現システムから新システムへの移行期間は2012年10月頃から2013年2月の予定。
- ▶ 新システムの運用を2013年3月に開始する。

移行方針と内容

▶ 目標

- ハワイ観測所の業務を遅滞なく継続する。
- 各機能について費用対効果の観点も含め要・不要を洗い出し、不要な機能を削除し、必要な機能を追加する。

▶ SOSSは廃止。Gen2に完全移行する。

▶ STARS/MASTARSは廃止。STARS 2/MASTARS 2に完全移行する。

▶ ana・hanaはレンタルの運用支援から、sbanalは別契約の運用支援から、それぞれ観測所スタッフによる運用・保守に移行する。

- 代替機を準備中。ana・hanaは2013年2月に撤去される。sbanalは買い取り機なので撤去時期は任意。

▶ HSCへの対応

- HSCのオンサイト解析サーバは、ヒロに買い取りで設置され、さらに増強中。ハードウェア・システム管理はレンタルの運用支援に含めているが、観測所スタッフによる管理も検討する。
- HSCのオフサイト解析サーバは、三鷹のレンタル契約で調達する。

観測への影響

- ▶ ana/hana/sbanaの切り替え
 - 2012年4月頃から2013年2月まで現・新計算機の並行運転をおこなう。
- ▶ ネットワーク機器の切り替えに伴うネットワークの切断
 - 山頂のネットワークは昼間のみ1-2日ネットワークが切れる予定。夜の観測への影響はないようにしたい。
 - 山麓のネットワークは段階的に切り替える。昼間にリモート観測室やビジター室のネットワークが切れることがある。夜の観測への影響はないようにしたい。
 - ネットワーク作業は2013年1月から2月を予定。